

※利用者様は補修を行わず、補修については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車 リトルターン (電動アシスト付) メンテナンスガイド

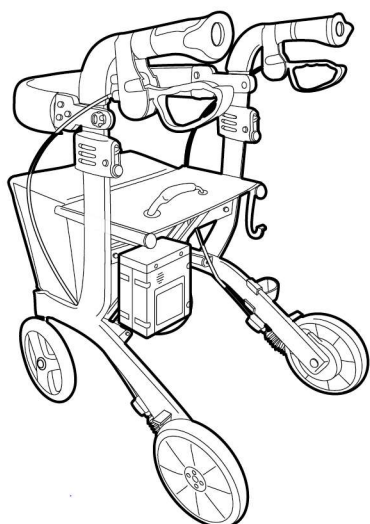


このメンテナンスガイドは必ずお読みいただき、大切に保管してください

このメンテナンスガイドを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、ガイドに沿って作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

必要工具

六角レンチ	: 4mm × 2本
	5mm
ソケットレンチ	: 19mm
プラスドライバー	: 2番
トルクレンチ	
スパナ	: 10mm



もくじ

はじめに	1
1. 付属品の点検	1~3
①取扱説明書の点検	
②バッグの点検	
③各種シールの点検	
④杖ホルダーの点検	
⑤杖固定ベルトの点検	
2. 外観の点検	3~12
①フレームの点検	
②溶接部の点検	
③パネ部の点検	
④ネジ部の点検	
⑤樹脂部の点検	
⑥電池の点検	
⑦配線の点検	
⑧制御ボックスの点検	
3. 性能の点検	13~20
①車輪の点検	
②ブレーキ・駐車ロックの点検	
③高さ調節の点検	
④折りたたみ動作の点検	
4. アシスト機能の点検	21~22
①アシスト機能の点検	
②操作パネルの点検	
③音声案内の点検	
④電池の点検	
注意事項	22

はじめに

メンテナンスを始める前にメンテナンスチェックリストを入手してください。(メンテナンスチェックリストは弊社ホームページからダウンロードできます。)
作業はメンテナンスチェックリストの順に従ってお進めください。

メンテナンスチェックリストの付属品の点検、外観の点検、性能の点検、アシスト機能の点検の各項目について、確認を行い、異常のない場合はチェック欄にチェックマーク(✓)をご記入ください。

異常が見つかった場合は、交換部品を取り寄せて補修いただいた上で、チェック欄に記入してください。

※ 補修ができない場合は製品の使用を中止してください。

※ 廃棄するときは、各自治体のルールに従って廃棄してください。

弊社ホームページからダウンロードできるもの

- ・取扱説明書
- ・メンテナンスチェックリスト
- ・メンテナンスガイド
- ・部品交換マニュアル

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

1. 付属品の点検

① 取扱説明書の点検

取扱説明書の有無を確認してください。

取扱説明書

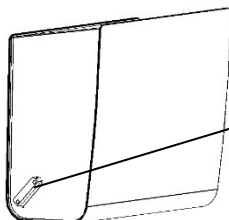


取扱説明書がない場合は、弊社ホームページからのダウンロードが可能です。



② バッグの点検

- 1) 折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じ、バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げバッグを取り外します。
- 2) ファスナー部に破損がなくスムーズに動作することを確認してください。
- 3) バッグにほつれ、破れ、汚れがないことを確認してください。
- 4) 取付用のスライド金具がバッグにしっかりと固定されていることを確認してください。



スライド金具

バッグに異常がある場合は交換部品「バッグセット」を発注してください。

1. 付属品の点検

③各種シールの点検

- 1) フレーム(前方・後方)保護シールが脚部の前後左右に4カ所あることを確認してください。
- 2) ブレーキ・駐車ロックシールがブレーキ基部内側に左右2カ所あることを確認してください。
- 3) 高さ調節ロック・解除シールが左右の高さ調節ボタンに2カ所あることを確認してください。
- 4) 指はさみ注意シールがクロスバーに1カ所あることを確認してください。
- 5) ブレーキ調節表示シールが左右のブレーキ調節ネジに2カ所あることを確認してください。
- 6) ブレーキ指はさみ注意シールがブレーキ基部外側に左右2カ所あることを確認してください。
- 7) 操作パネルシールが制御ボックス上側に1カ所あることを確認してください。



3) 高さ調節ロック・解除シール
※右側の同じ位置にもあります。



1) フレーム前方保護シール
※右側の同じ位置にもあります。



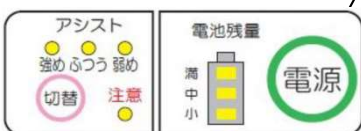
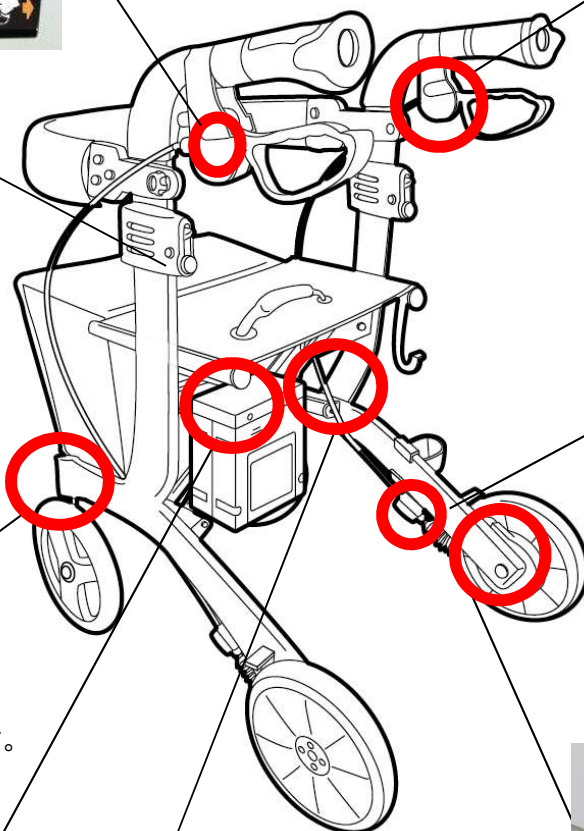
6) ブレーキ指はさみ注意シール
※右側の同じ位置にもあります。



2) ブレーキ・駐車ロックシール
※左側の同じ位置にもあります。



5) ブレーキ調節表示シール
※左側の同じ位置にもあります。



7) 操作パネルシール



4) 指はさみ注意シール



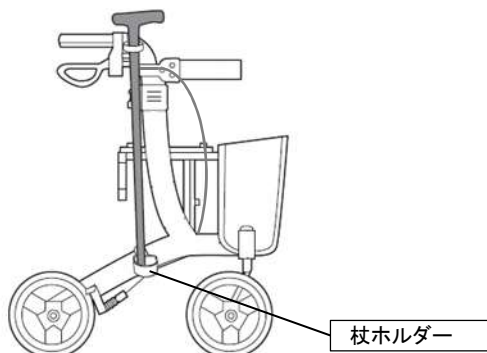
1) フレーム後方保護シール
※左側の同じ位置にもあります。

各種シールにはがれや劣化がある場合は、交換部品の各種シールを発注し貼付してください。

1. 付属品の点検

④杖ホルダーの点検

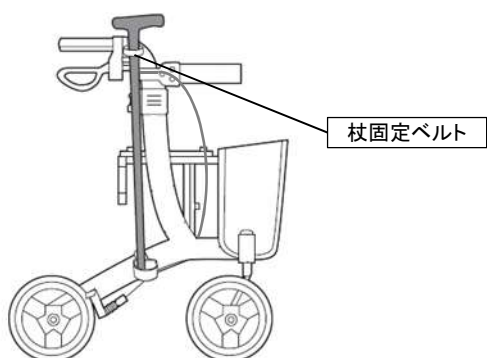
杖ホルダーに割れや劣化がないことを確認してください。



杖ホルダーに異常がある場合は
交換部品「杖ホルダー」を発注してください。

⑤杖固定ベルトの点検

杖固定ベルトに破れやほつれがないことを確認してください。



杖固定ベルトに異常がある場合は
交換部品「杖固定ベルト」を発注してください。

2. 外観の点検

①フレームの点検

1) フレームの塗装に傷やはがれがないことを確認してください。

フレームに傷やはがれが見られる場合は、
補修部品「補修ペイント(タッチペン)」にて補修してください。

2) フレームに異常(ひび割れ、変形、ゆがみ、ガタつき)がないことを確認してください。

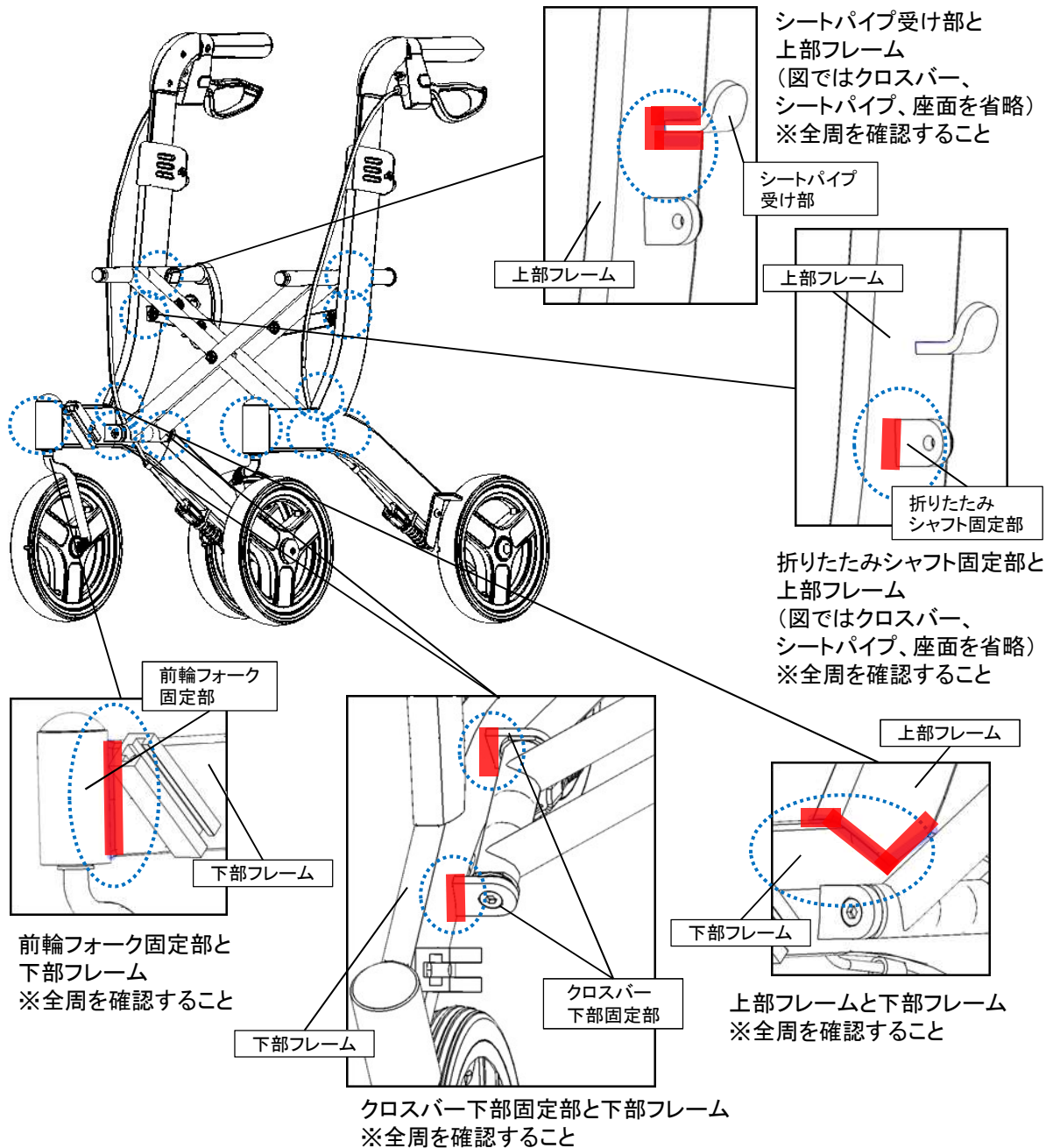
フレームに異常が見られる場合は、使用を中止して、廃棄してください。

2. 外観の点検

②溶接部の点検

1) バッグをはずし、フレーム溶接部にガタつきやはずれがないことを、目視や触感により確認してください。

フレーム溶接部の詳細図(拡大図は右側のみを表示)



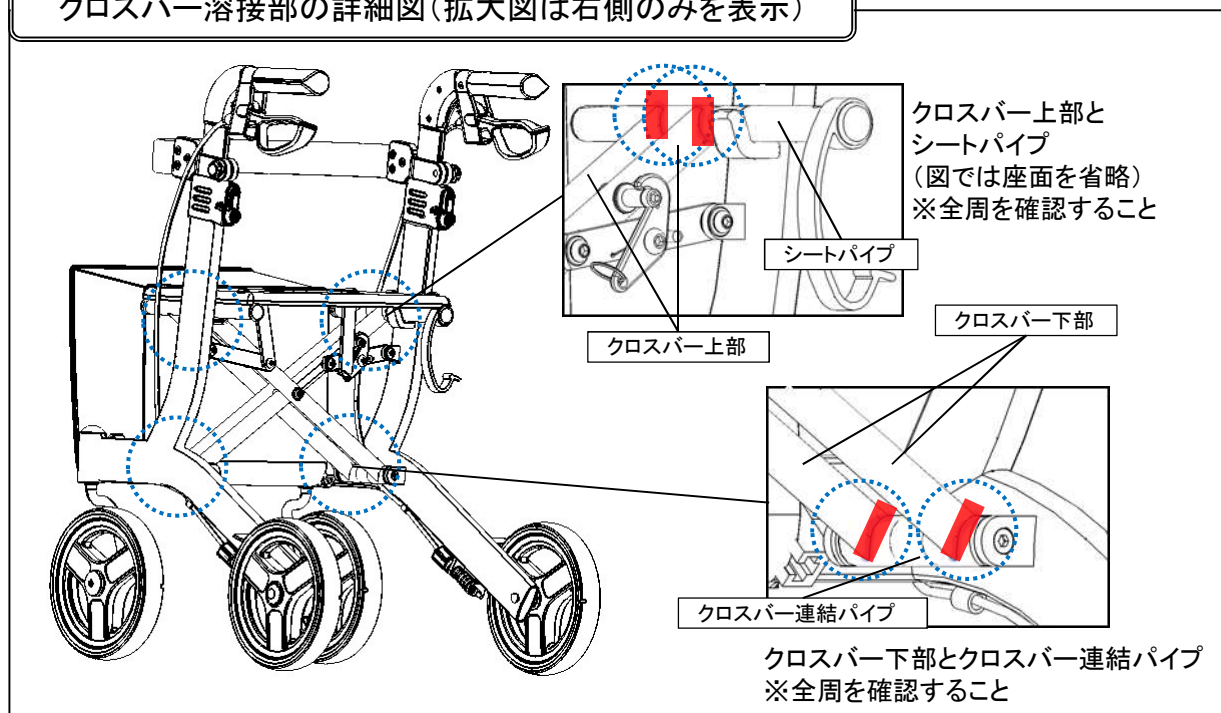
溶接部にガタつきやはずれがある場合は使用を中止して、廃棄してください。

2. 外観の点検

②溶接部の点検(つづき)

2)クロスバー溶接部にガタつきやはずれがないことを、目視や触感により確認してください。

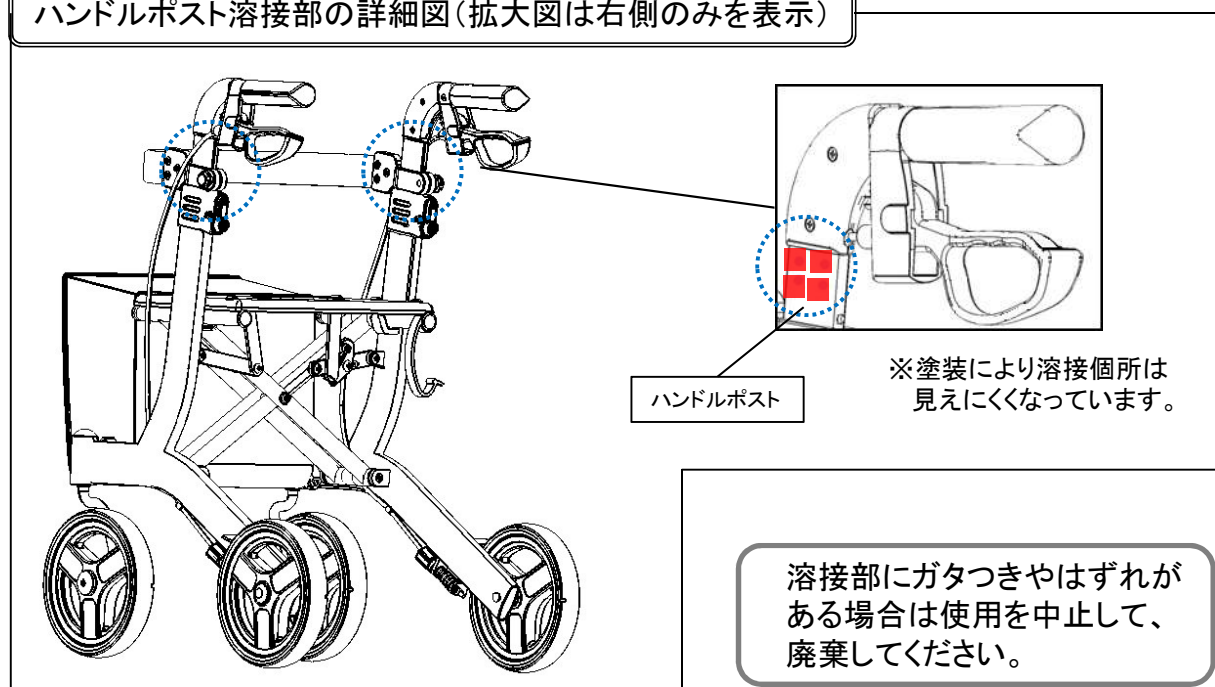
クロスバー溶接部の詳細図(拡大図は右側のみを表示)



溶接部にガタつきやはずれがある場合は使用を中止して、廃棄してください。

3)ハンドルポスト溶接部にガタつきやはずれがないことを、目視や触感により確認してください。

ハンドルポスト溶接部の詳細図(拡大図は右側のみを表示)



2. 外観の点検

③バネ部の点検

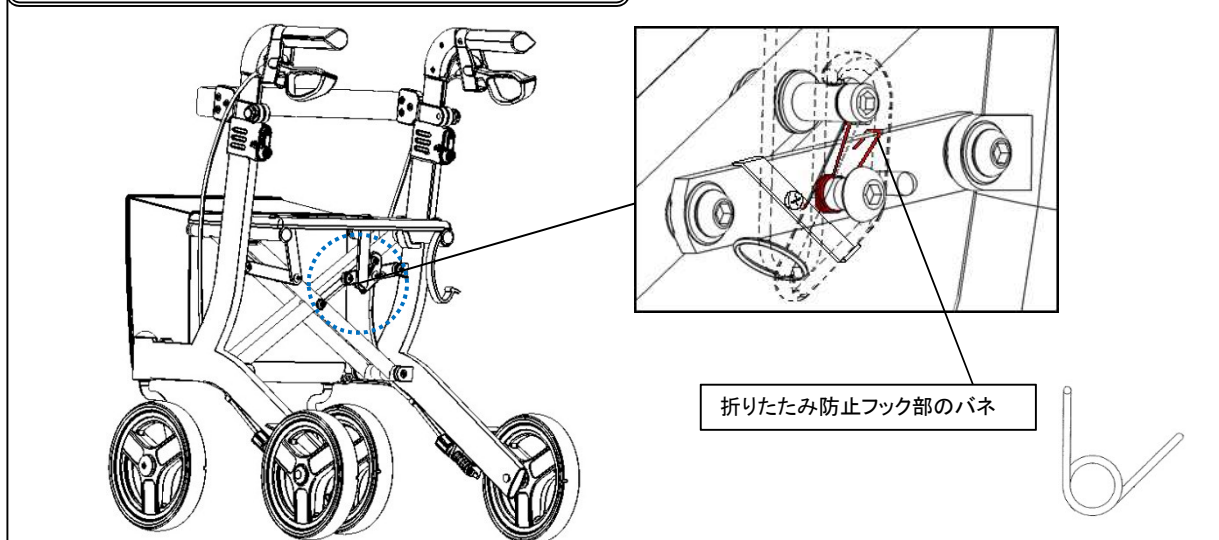
1) 折りたたみ防止フック部のバネに、錆・外れがないことを確認してください。

2) 折りたたみ防止フック部のバネが、伸びて引きが悪くないかを確認してください。

☞ 本体を折り畳み上から見ると折りたたみ防止フック部のバネの目視がしやすくなります。
引きが悪くなると、座面を開く時に折りたたみ防止フックがかからなくなります

3) 折りたたみ防止フック部のバネの先端が外を向いて指に触れないかを確認してください。

折りたたみ防止フック部のバネの詳細図



折りたたみ防止フック部のバネに異常がある場合は、使用を中止して、廃棄してください。

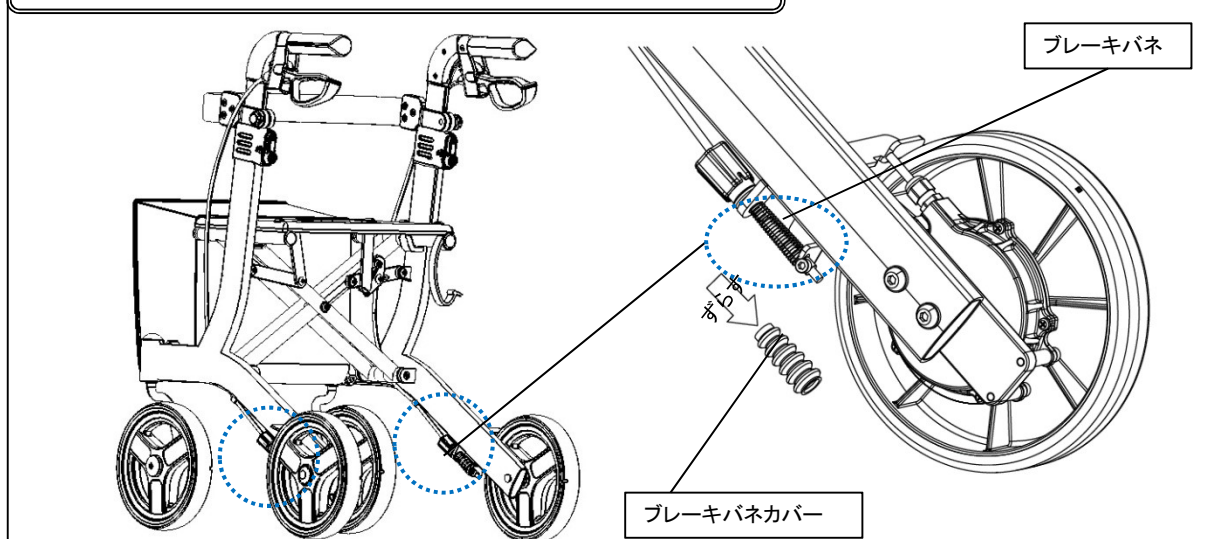
4) 左右のブレーキバネに、錆・外れがないことを確認してください。

5) 左右のブレーキバネが、伸びて引きが悪くないかを確認してください。

☞ 引きが悪くなると、ブレーキをかけた時にブレーキ板の戻りが悪くなります。

6) 左右のブレーキバネの先端が、外を向いて指が触れないかを確認してください。

ブレーキバネの詳細図(拡大図は右側のみを表示)



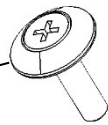
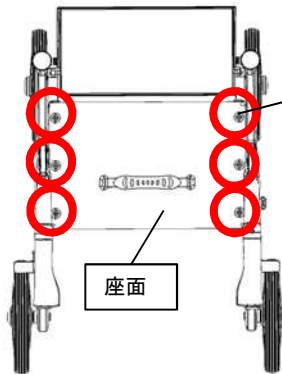
ブレーキバネに異常がある場合は、交換部品「ブレーキバネ」を発注して、交換してください。

2. 外観の点検

④ネジ部の点検

※ 増し締めを行い緩みがないことを確認してください。

1) 座面固定ボルトが6カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。

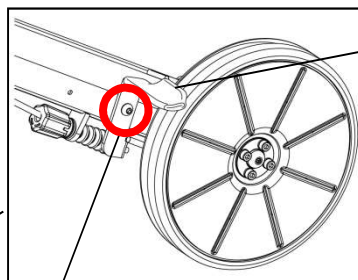
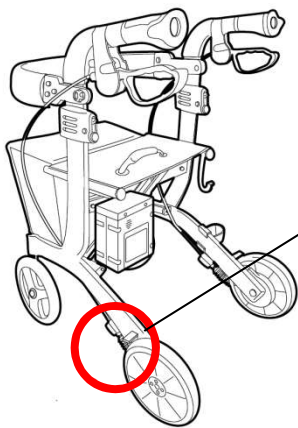


プラスドライバー: 2番

座面固定ボルト×6

座面固定ボルトが破損していたり、なくなっている場合は交換部品「座面固定ボルト」を発注して、交換してください。

2) ブレーキ板固定ボルトが左右計2カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。



ブレーキ板

六角レンチ: 4mm

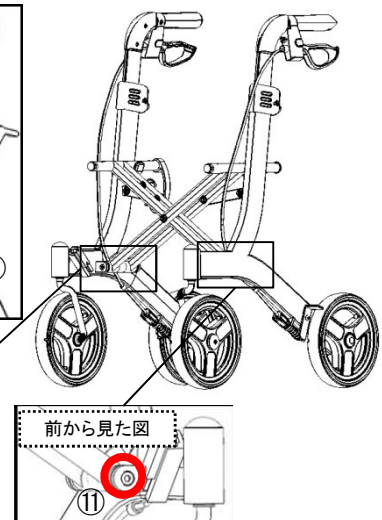
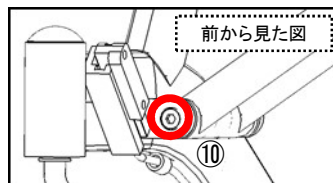
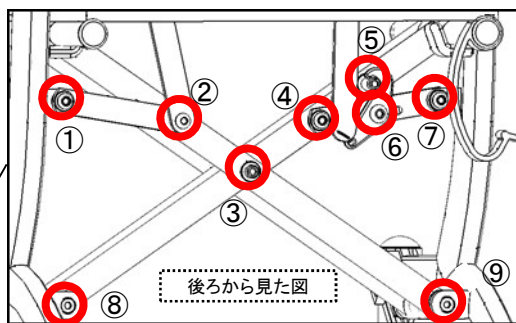
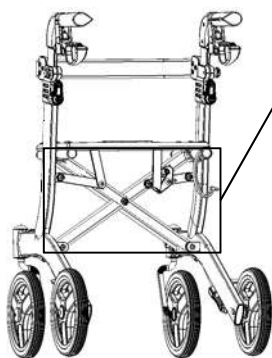


ブレーキ板固定ボルト×2

ブレーキ板固定ボルトが破損していたり、なくなっている場合は、交換部品「ブレーキ板固定ボルトセット」を発注して、交換してください。

3) クロスバー固定ボルトが11カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。

①～⑦: 六角レンチ: 5mm
⑧～⑪: 六角レンチ: 4mm



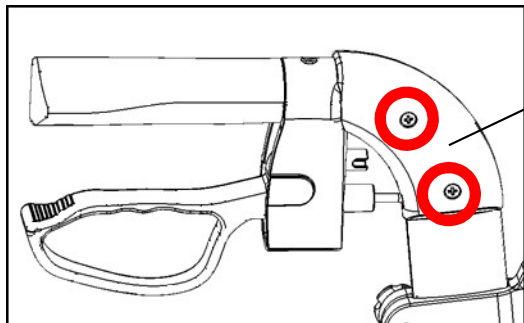
クロスバー固定ボルトが破損していたり、なくなっている場合は、使用を中止して、廃棄してください。

2. 外観の点検

④ネジ部の点検(つづき)

4) ハンドル基部のネジが左右計4カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。

内側から見た図



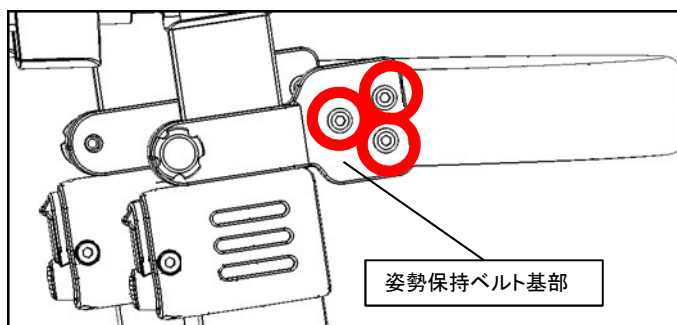
ハンドル基部

プラスドライバー: 2番

ハンドル基部のネジが破損していたり、なくなっている場合は製造元にお問い合わせください。

5) 姿勢保持ベルト基部のネジが左右計6カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。

六角レンチ: 4mm × 2本



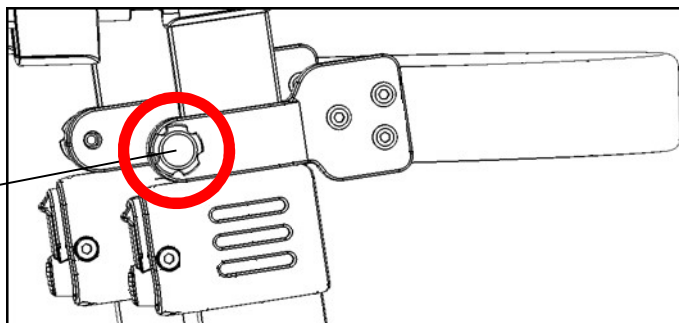
姿勢保持ベルト基部

姿勢保持ベルト基部のネジが破損していたり、なくなっている場合は交換部品「姿勢保持ベルトセット」を発注して、交換してください。

6) 姿勢保持ベルト固定ノブボルトが左右計2カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。



姿勢保持ベルト固定ノブボルト

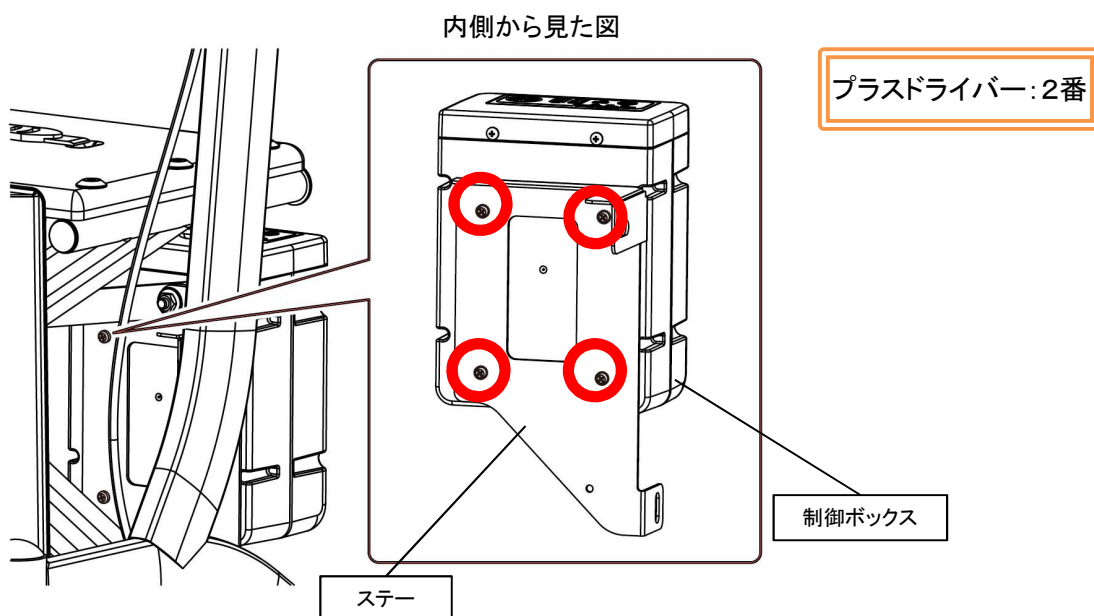


姿勢保持ベルト固定ノブボルトが破損していたり、なくなっている場合は、交換部品「姿勢保持ベルト固定ノブボルト」を発注して、交換してください。

2. 外観の点検

④ネジ部の点検(つづき)

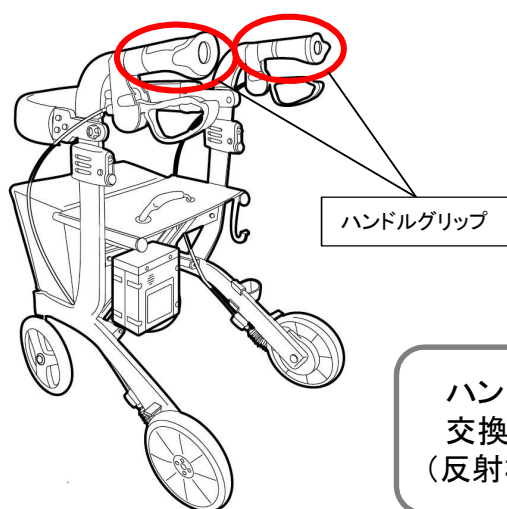
7) 制御ボックスとステーのネジが左右計4カ所とも緩みなく締まっていることを確認してください。



制御ボックスのネジに破損がある場合は、製造元にお問い合わせください。

⑤樹脂部の点検

1) ハンドルグリップ(左右計2カ所)に傷、汚れ、割れがないことを確認してください。

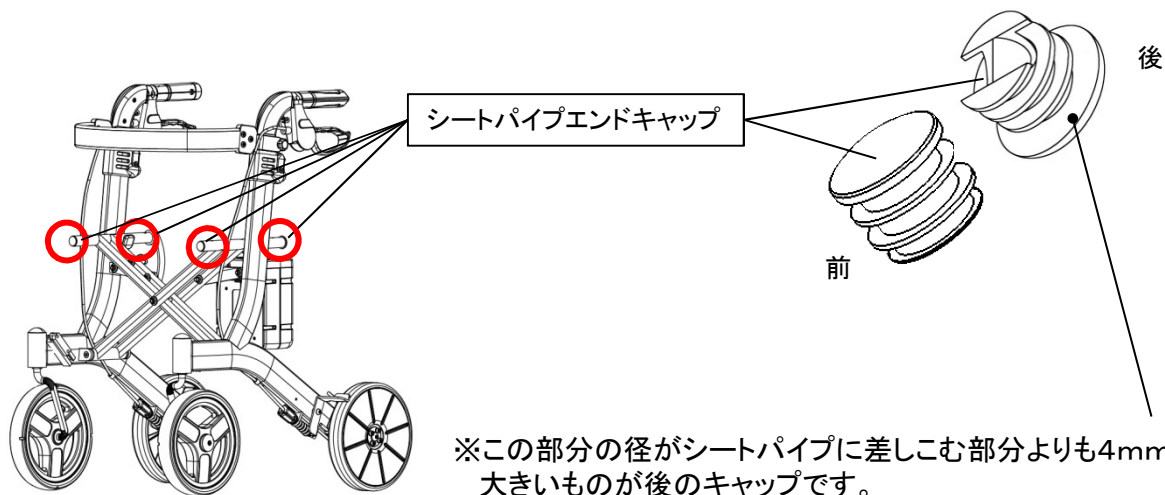


ハンドルグリップに傷、割れ、紛失がある場合は交換部品「ハンドルグリップ左右セット(反射板含む)」を発注して交換してください。

2. 外観の点検

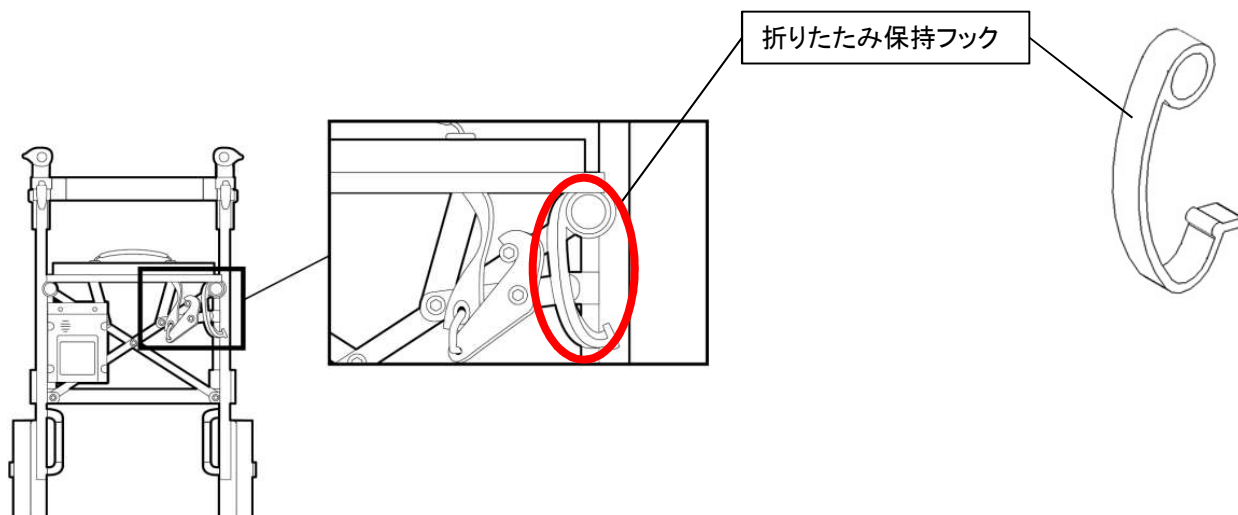
⑤樹脂部の点検(つづき)

2) シートパイプエンドキャップ(左右計4カ所)に傷、汚れ、割れがないことを確認してください。



シートパイプエンドキャップに傷、割れ、紛失がある場合は交換部品「シートパイプエンドキャップ」を発注して交換してください。

3) 折りたたみ保持フックに傷、汚れ、割れがないことを確認してください。

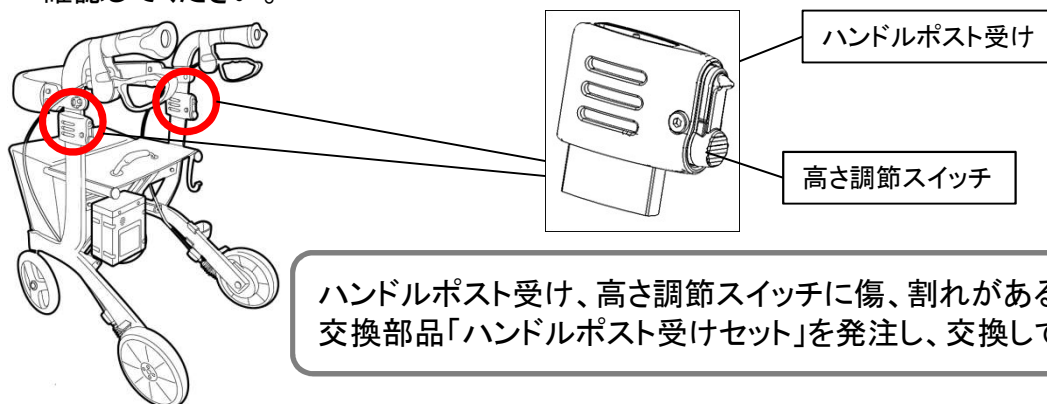


折りたたみ保持フックに傷、割れ、紛失がある場合は交換部品「折りたたみ保持フック」を発注して交換してください。

2. 外観の点検

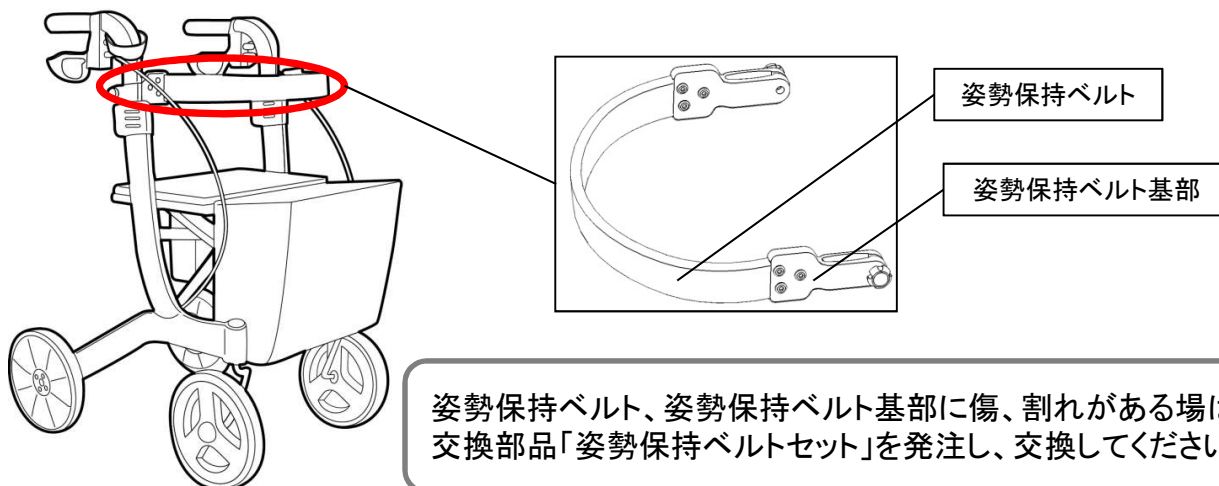
⑤樹脂部の点検(つづき)

4) ハンドルポスト受け、高さ調節スイッチ(左右計2カ所)に傷、汚れ、割れがないことを確認してください。



ハンドルポスト受け、高さ調節スイッチに傷、割れがある場合は交換部品「ハンドルポスト受けセット」を発注し、交換してください。

5) 姿勢保持ベルト、姿勢保持ベルト基部に傷、汚れ、割れがないことを確認してください。



姿勢保持ベルト、姿勢保持ベルト基部に傷、割れがある場合は交換部品「姿勢保持ベルトセット」を発注し、交換してください。

⑥電池の点検

1) 電池のツメ(2カ所)に割れ、破損がないことを確認してください。



ツメに割れ、破損がある場合は交換部品「電池」を発注し、交換してください。

2. 外観の点検

⑥電池の点検(つづき)

2) 電池の端子に汚れ、変形、破損がないことを確認してください。



電池の端子に変形、破損がある場合は交換部品「電池」を発注し、交換してください。

3) 電池ケースに割れ、破損がないことを確認してください。

電池ケースに割れ、破損がある場合は交換部品「電池」を発注し、交換してください。

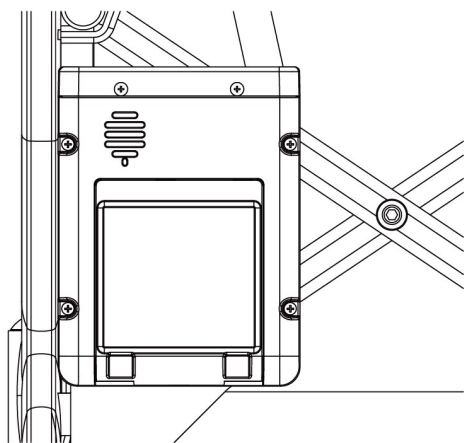
⑦配線の点検

1) 配線に切れ、折れ、被覆の破れがないことを確認してください。

配線に切れ、折れ、被覆の破れがある場合は、製造元にお問い合わせください。

⑧制御ボックスの点検

1) 制御ボックスに割れ、破損がないことを確認してください。



制御ボックスに割れ、破損がある場合は、製造元
にお問い合わせください

3. 性能の点検

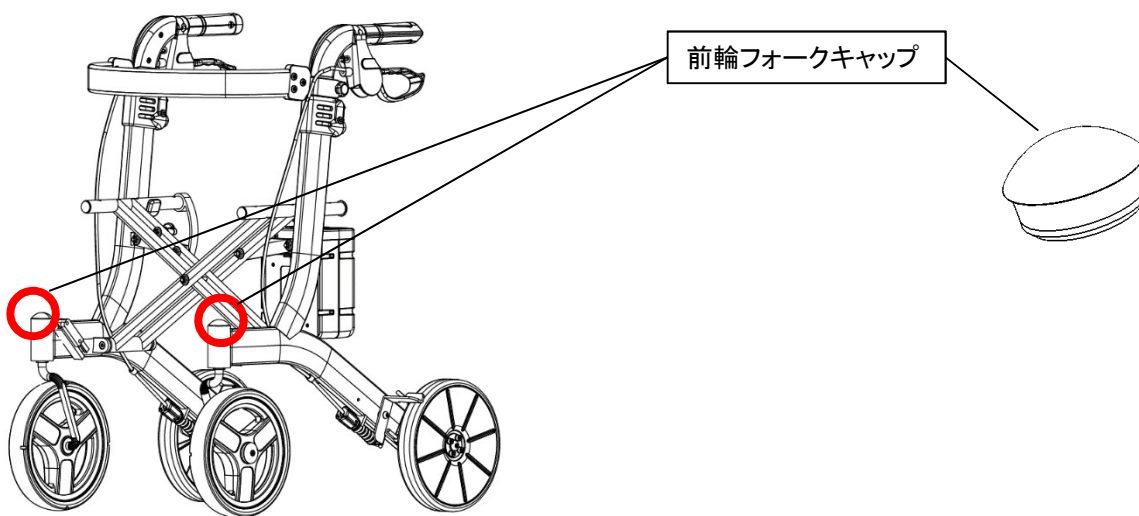
①車輪の点検

1) 前輪に摩耗や割れがないことを確認してください。

交換の目安は取扱説明書の34ページに記載されています。

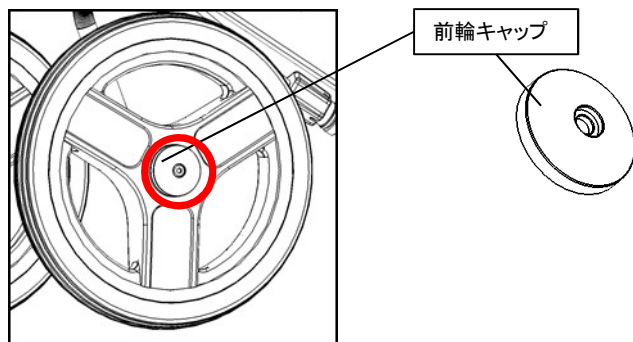
前輪に摩耗や割れがある場合は、交換部品「前輪セット」を
発注して、交換してください。

2) 前輪フォークキャップに傷や割れがないことを確認してください。



前輪フォークキャップに傷、割れ、紛失がある場合は
交換部品「前輪フォークキャップ」を発注して、交換してください。

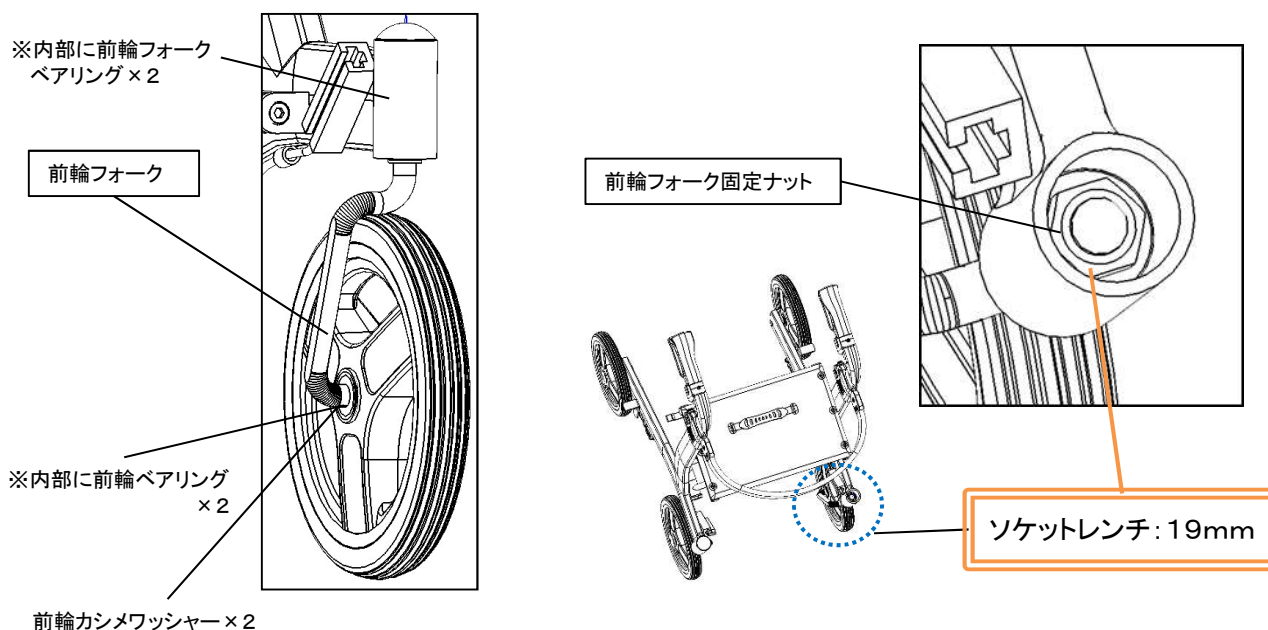
3) 前輪キャップに傷、汚れ、割れがないことを確認してください。



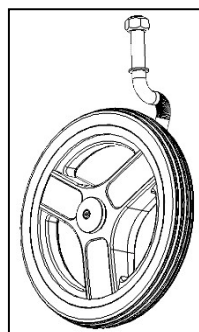
3. 性能の点検

①車輪の点検(つづき)

- 4) 前輪カシメワッシャー(左右計2カ所)に割れ、緩みがないことを確認してください。
- 5) 前輪フォーク(左右計2カ所)に割れやゆがみがないことを確認してください。
- 6) 前輪フォーク固定ナット(左右計2カ所)に緩みがないことを確認してください。
- 7) 前輪ベアリング(左右計4カ所)、前輪フォークベアリング(左右計4カ所)に割れなどがいないことを確認してください。



前輪、前輪キャップ、前輪フォーク、前輪フォーク固定ナットに異常がある場合は、交換部品「前輪セット」を、前輪フォークベアリングに異常がある場合は「前輪フォークベアリングセット」を発注して、交換してください。



前輪セット:

ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット・前輪スリーブ
※組み付け状態での販売となります。

前輪フォークベアリングセット:

ベアリング×2・前輪フォーク固定ナット

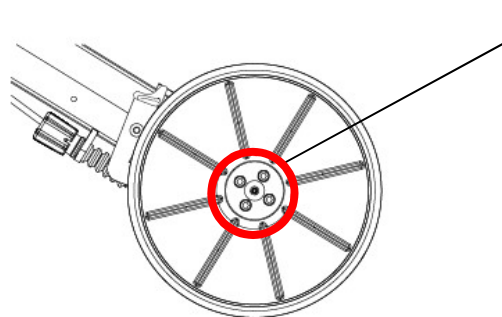
3. 性能の点検

①車輪の点検(つづき)

8) 後輪に摩耗や割れがないことを確認してください。

 交換の目安は取扱説明書の34ページに記載されています。

9) 後輪のボルトに緩みがないことを確認してください。(左右計8カ所)



後輪ボルト×4

六角レンチ: 4mm
トルクレンチ

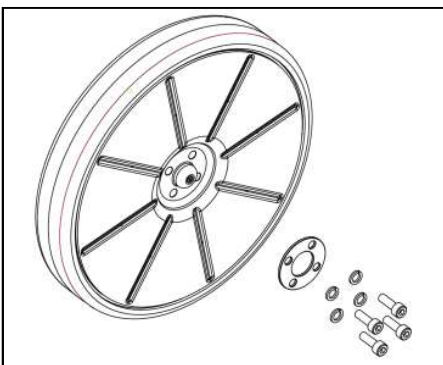


後輪ナットの締め付けトルクは
締め付けトルクは $5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($50 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$) です。

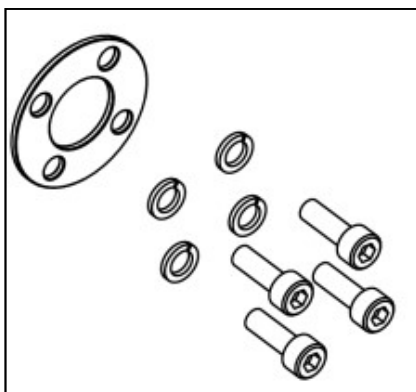


後輪に異常がある場合は交換部品「後輪セット」
を発注して、交換してください。

後輪ボルトに異常がある場合は交換部品「後輪
ボルトセット」を発注して、交換してください。



後輪セット:
ホイール・タイヤ・リングワッシャー×2・
ボルト・スプリングワッシャー×8
※1台分(1セット)状態での販売となります。



後輪ボルトセット:
リングワッシャー×2・
ボルト・スプリングワッシャー×8
※1台分(1セット)状態での販売となります。

3. 性能の点検

①車輪の点検(つづき)

10) 前後4輪が同時に接地することを確認してください。

前後4輪が同時に接地しない場合は、タイヤの摩耗状態を再度確認してください。

 タイヤ交換の目安は取扱説明書の34ページに記載されています。

タイヤの摩耗状態に異常がなく、前後4輪が同時に接地しない場合は、使用を中止して、廃棄してください。

11) 前輪が左右ともスムーズに360°回転することを確認してください。

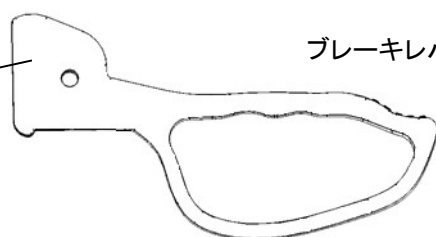
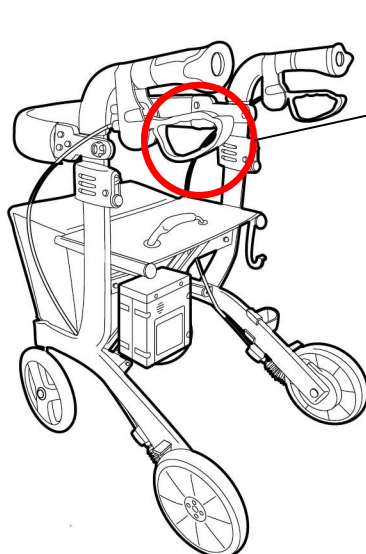
前輪がスムーズに回転しない場合は、前輪フォークベアリングに異常がないかを再度確認してください。前輪フォークベアリングに異常がなく、車体が直進しない場合は使用を中止して、廃棄してください。

12) 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。

車体が直進しない場合は、各ベアリングに異常がないか、タイヤに摩耗がないか、前輪フォークにゆがみがないかを再度確認してください。全てに異常がなく、車体が直進しない場合は使用を中止して、廃棄してください。

②ブレーキ・駐車ロックの点検

1) ブレーキレバー(左右計2ヶ所)に傷や割れがないことを確認してください。



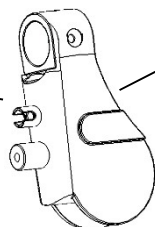
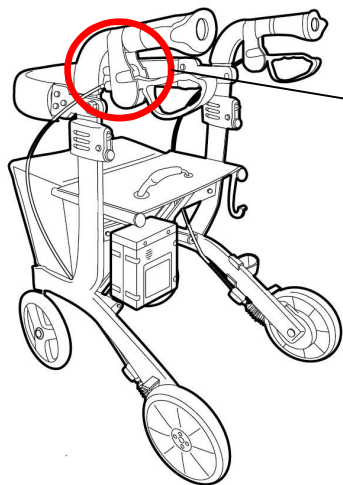
ブレーキレバー

ブレーキレバーに傷、割れがある場合は交換部品「ブレーキレバーセット」を発注して交換してください。

3. 性能の点検

②ブレーキ・駐車ロックの点検(つづき)

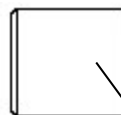
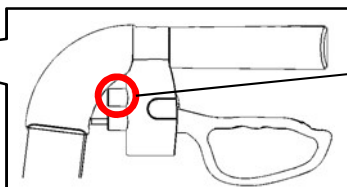
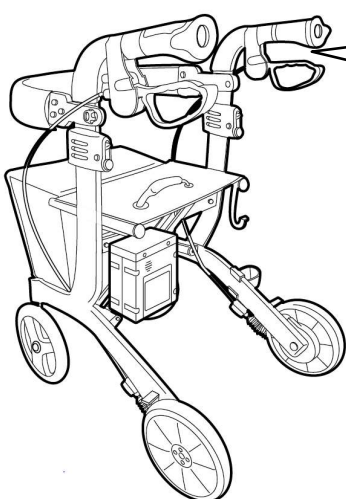
2)ブレーキ基部(左右計2カ所)に傷や割れがないことを確認してください。



ブレーキ基部

ブレーキ基部に傷、割れがある場合は交換部品「ブレーキ基部」を発注して交換してください。

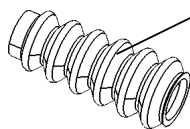
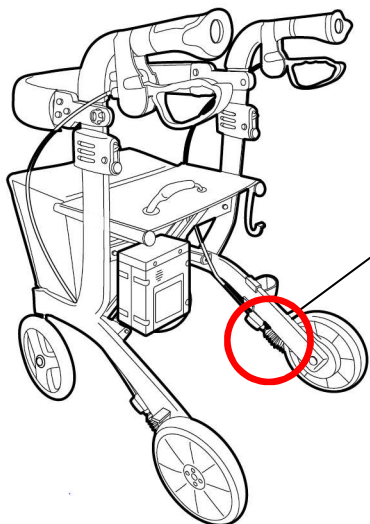
3)ブレーキ基部キャップ(左右計2カ所)に傷や割れがないことを確認してください。



ブレーキ基部キャップ

ブレーキ基部キャップに傷、割れ、紛失がある場合は交換部品「ブレーキ基部キャップ」を発注して交換してください。

4)ブレーキバネカバー(左右計2カ所)に傷や割れがないことを確認してください。



ブレーキバネカバー

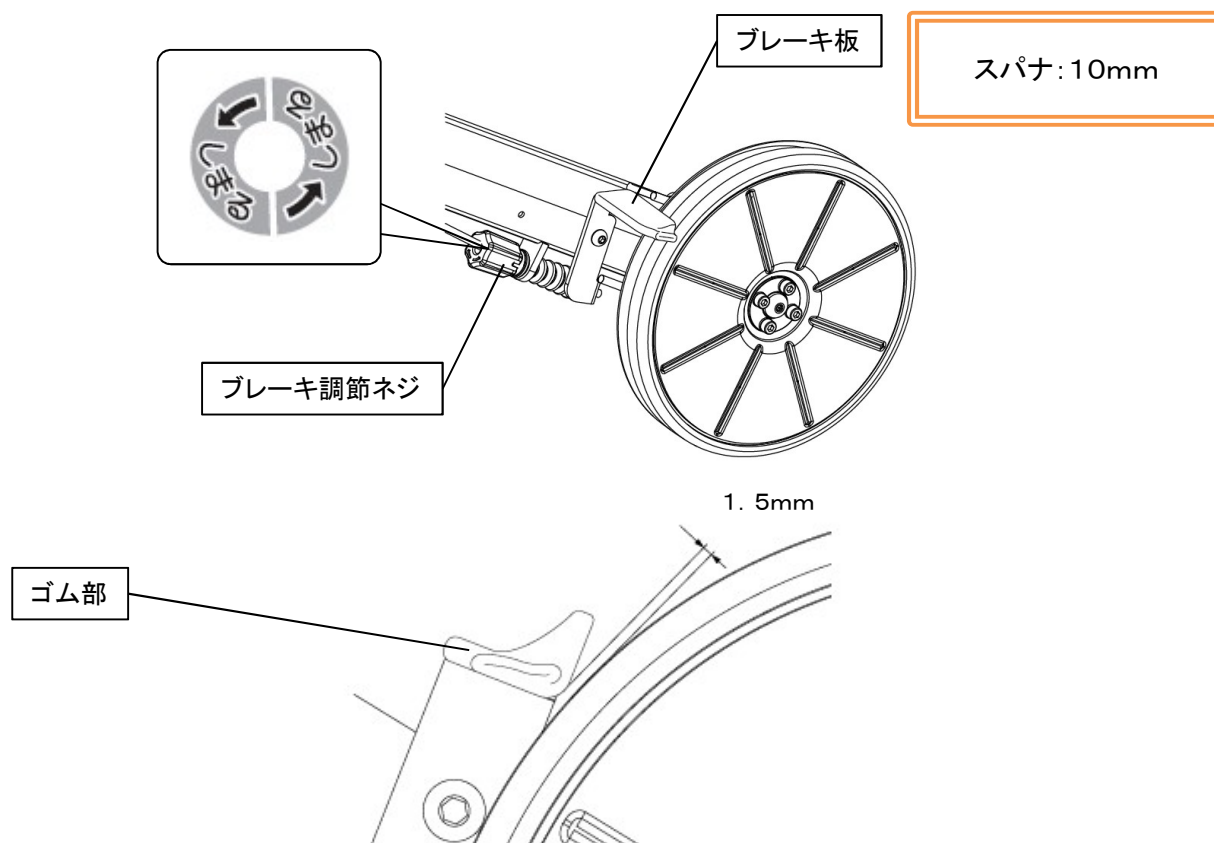
ブレーキバネカバーに傷、割れがある場合は交換部品「ブレーキバネカバー」を発注して交換してください。

3. 性能の点検

②ブレーキ・駐車ロックの点検(つづき)

5) ブレーキ板に取り付けられているゴム部に摩耗、亀裂、剥がれがないことを確認してください。

6) ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmであることを確認してください。



- ・ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmを超えている場合は、ロックナットを緩めてからブレーキ調節ネジを締めて、間隔が1.5mmになるよう調節してください。
(1.5mmの目安=10円玉の厚み)
- ・調節しても間隔が1.5mmにならない場合は、タイヤとブレーキ板の摩耗状態を確認してください。
(交換部品「後輪セット」「ブレーキ板」)
- ・調節後はロックナットを締めてください。

7) ブレーキレバーをブレーキが利くまで十分に握ることができるかを確認してください。

ブレーキが十分に利かない場合は、ブレーキ板とタイヤの間隔を再度確認してください。ブレーキレバーを握る時に固く感じる場合には、ブレーキワイヤーが折れ曲がっていることがあります。(交換部品「ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(H)」)

3. 性能の点検

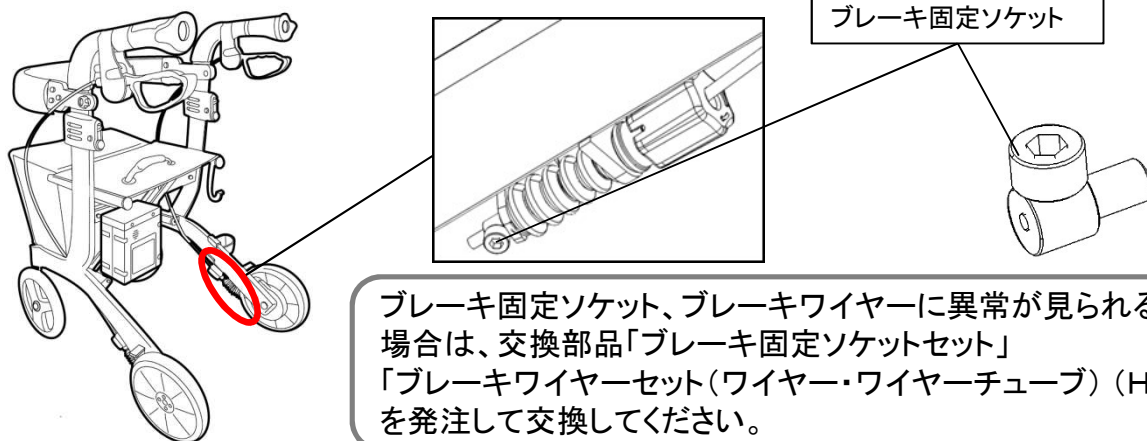
②ブレーキ・駐車ロックの点検(つづき)

8) ブレーキの利き具合が正常であることを確認してください。

■ブレーキ固定ソケットが緩みなく締まっていることを確認してください。

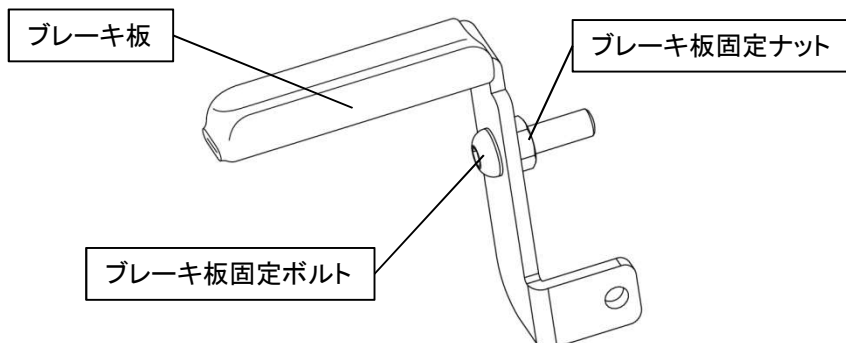
■ブレーキワイヤーに切れ、ほつれ、屈曲がないことを確認してください。

※ブレーキレバーを握った時に、左右両輪ともにブレーキ板がしっかりと当たり 車輪が回転しないことを確認してください。



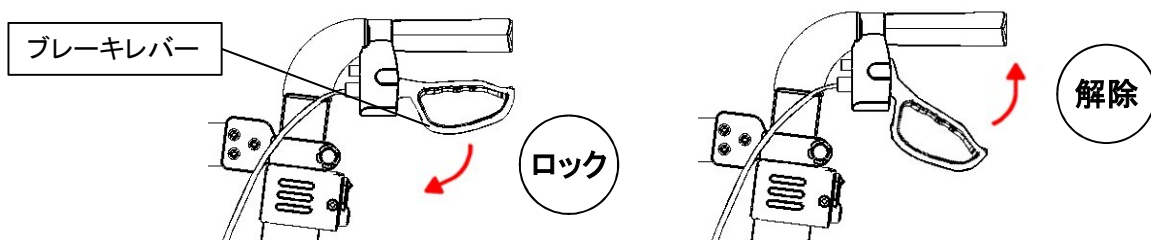
9) ブレーキ板に大きなガタツキがないか確認してください。

※ブレーキ板に大きなガタツキがある場合はブレーキ板固定ナットを締めつけてブレーキ板が回転可能な範囲内でガタツキをできるだけ小さくした後、ブレーキ板固定ボルトを締めつけてください。



10) 駐車ロックが正常に作動することを確認してください。

※駐車ロックを作動した時に、左右両輪ともにブレーキ板がしっかりと当たり 車輪が回転しないことを確認してください。



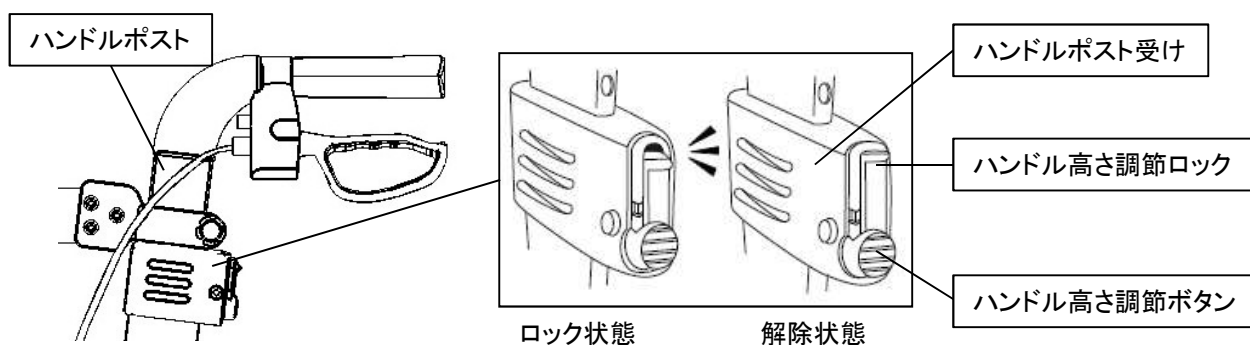
駐車ロックが正常に作動しない場合は、ブレーキ板とタイヤの間隔を再度確認してください。駐車ロックをかける時に固く感じる場合には、ブレーキワイヤーが折れ曲がっていることがあります。(交換部品「ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(H)」)

3. 性能の点検

③高さ調節の点検

1) 高さ調節が正常に行えることを確認してください。

- ハンドル高さ調節ロックがスムーズに動作することを確認してください。
- ハンドル高さ調節ボタンを押した状態で、ハンドルポストがスムーズに上下することを確認してください。
- 一定の高さに調節し、ハンドル高さ調節ボタンから手を放した状態で、ハンドルポストが上下しないことを確認してください。



高さ調節動作がスムーズに行えない場合は、フレームやハンドルポストにゆがみがないか、ハンドル高さ調節ロック、ハンドル高さ調節ボタン、ハンドルポスト受けに割れなどがないかを確認してください。（交換部品「ハンドルポスト受けセット」）
フレームやハンドルポストにゆがみが見つかった場合は、使用を中止し廃棄してください。

④折りたたみ動作の点検

1) 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。

折りたたみ動作がスムーズに行えない場合は、フレームやクロスバーにゆがみがないか確認してください。フレームやクロスバーにゆがみが見つかった場合は、使用を中止し廃棄してください。

4. アシスト機能の点検


①アシスト機能の点検

- 1) 登坂路、降坂路でアシスト機能が作動することを確認してください。
(使用可能勾配: 縦断勾配 12% (7度) 以下)

- 「切替」ボタンを1回押す毎に アシスト力 弱め→ふつう→強め→弱め... の順に切替わることを確認してください。
- 切替毎にアシスト力に応じたLEDが点灯し、あわせて音声により案内することを確認してください。


【アシスト力の目安】

場面	機能	切替ボタン		
		弱め	ふつう	強め
登坂路	推進力が変動	アシスト力 弱い	標準	アシスト力 強い
降坂路	抑速力が変動	アシスト力 弱い	標準	アシスト力 強い

 アシスト力の切替は、本体を安全な場所に駐車させ、駐車ブレーキを掛けてから行って下さい。


- 2) 片傾斜勾配路で、直進を保つようにアシスト機能が作動することを確認してください。
(使用可能勾配: 横断勾配 5% (3度) 以下)

- 3) 登坂路、降坂路でグリップから両手を放すと停車(微動)することを確認してください。

 完全停車ではなく、安全のため「微動」させています。故障ではありませんのでご注意ください。


②操作パネルの点検

- 1) 操作パネルの「注意」LEDが点灯していないことを確認してください。

 「電源」のON/OFFを繰り返しても「注意」LEDが消えない場合は、製造元にお問い合わせください。

③音声案内の点検


- 1) 操作パネルの「電源」が入った状態で、「切替」を2秒以上押し続けて音量が切り替わることを確認してください。

 音量が切り替わらない場合は、製造元にお問い合わせください。

4. アシスト機能の点検

④電池の点検

- 1) 電池を専用充電器で約3時間充電し、操作パネルの電池残量LEDが3つ点灯(80%以上)することを確認してください。

 約3時間充電を行ってもLEDが3つ点灯(80%以上)しない場合は交換部品「電池」を発注して交換してください。

注意事項

保管について

- 戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
- 火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- 取扱説明書は本体と一緒に保管すること

お手入れについて

- 車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
洗浄するときは車体に向けて放水しないこと(高圧洗浄も不可)
- 次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー
 - ・クレゾール
 - ・熱湯
 - ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
 - ・磨き粉
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・その他製品を傷つけるもの
- 高温の空気やオゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと
製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します
製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください
特にABS樹脂部分(制御ボックス、電池、専用充電器、専用ACアダプター)は消毒後、
水拭きと乾拭きをしてください。消毒液が残ると跡残りの原因になります
- 注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意すること
タイヤやブレーキ板に付着した油はよく拭き取ってください

廃棄について

- 廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル  **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

18.09 919135